

ともに生き みんなと住み続けたい 思いやりのまちづくり

かすみがうら社協だより

臨時号

kasumigaura welfare information

令和3年3月31日発行

社協(しゃきょう)は、社会福祉協議会の略称です。

令和2年度赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金報告



赤い羽根

共同募金は、戦後間もない1947年(昭和22年)に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

令和2年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 報告

赤い羽根共同募金 総額 4,203,451 円 歳末たすけあい募金 総額 3,522,710 円

●本年度ご協力いただいた状況を以下の通りご報告いたします。(順不同敬称略)

●各ご家庭からのご協力は、地区単位で掲載しております。

募金の取りまとめの際には、区・常会・班・自治会のご協力をいただき
ありがとうございました。



赤い羽根共同募金

法人募金

20,000円

(株)筑波銀行千代田支店

(株)久松哲男商店

15,000円

日産部品茨城販売(株)

10,000円

(株)萩原自動車

(株)千和

(有)千代田衛生

神鋼ノース(株)霞ヶ浦工場

芝浦シヤリング(株)土浦事業部

オート化学工業(株)

富士精罐(株)

生熊運送(株)

(有)ワークサポート

J A水郷つくば

直井建材運輸(有)

(株)ポテトかいつか

(株)大橋

(株)前島工業所

(株)オンダ

マルカ(株)出島事業所

(有)小勝電機商会

ひたち野総合税理士法人

(有)仲本工業

(有)豊水エンジニアリング

(株)外塚農園

(有)小山組

北斗設備工業(株)

(株)シンドウ

(株)中島商事

(有)三和自動車

(有)山本植物園

5,000円

(株)イシザキ

関鉄自動車工業(株)

(有)松井建築設計事務所

(株)タナカ霞ヶ浦工場

トモエ運輸(有)

東邦金属工業(株)つくば工場

水戸信用金庫出島支店

1,000円

田中鉄鋼販売(株)



茨城県共同募金会では、募金運動推進のため、「赤い羽根自動販売機(*1)」の設置をお願いしています。設置者の皆様の社会貢献活動の一環として是非ご検討ください。

- 自動販売機の設置に費用はかかりません。設置者の方の負担は電気代のみです。
- 1ヶ月の電気代は、月額約2,000円～3,000円ほどです。

(*1)「赤い羽根自動販売機」は、飲み物を購入すると、その売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機です。

職域募金

●かすみがうら市役所 16,791 円

●社会福祉協議会 24,000 円

募金箱（17か所） 計 21,200 円

- 市役所千代田庁舎
- 市役所霞ヶ浦庁舎
- 中央出張所
- あじさい館
- やまゆり館
- 千代田公民館
- 歴史博物館
- 水族館
- かすみがうらウエルネスプラザ
- ピソ天神
- スーパーマルモ千代田店
- ディスカウントスーパーヒーロー
- ウエルシア薬局
かすみがうら大和田店
- ツルハドラッグ千代田店
- セイミヤかすみがうら店
- JA 水郷つくば農産物直売所
サンフレッシュ霞ヶ浦店
- JA 水郷つくば農産物直売所
サンフレッシュ花野果

学校募金 計 193,660 円

- 霞ヶ浦南小学校
- 霞ヶ浦北小学校
- 志筑小学校
- 新治小学校
- 七会小学校
- 上佐谷小学校
- 下稲吉小学校
- 下稲吉東小学校
- 霞ヶ浦中学校
- 千代田中学校
- 下稲吉中学校
- 第一保育所
- わかぐり保育所
- やまゆり保育所
- のぞみ保育園
- 東風高校
- 霞ヶ浦保育園
- 美並未来みなみ保育園
- 千代田保育園

歳末たすけあい募金

個人募金

●今泉邦子 20,000 円

その他の募金

●四ヶ村友好会 5,000 円
●タキロンシーアイ(株)労働組合 13,510 円



戸別募金 地区別集計

(単位：円)

地区名	共同募金		歳末募金	
	協力世帯数	金額	協力世帯数	金額
下大津	387	192,000	387	192,000
美並	684	328,500	643	313,500
牛渡	426	202,000	415	196,500
佐賀	451	225,600	327	164,000
安飾	415	181,100	409	177,600
志土庫	777	347,500	769	343,500
志筑	459	228,500	459	228,500
新治	570	277,000	564	274,000
七会	444	222,000	442	221,000
上佐谷	131	68,000	130	65,000
下稲吉	1,714	799,500	1,713	799,000
下稲吉東	1,056	515,100	1,034	509,600
合計	7,514	3,586,800	7,292	3,484,200

様々な色の 羽根の意味

「誰かのために」という思いは、みんな一緒です

(ホームページより抜粋)

青い 羽根



海難救助活動をするボランティアのための経費にあてられる寄付金です。訓練・各種の救助器材、救助船の燃料が必要になるため、日本水難救済会が1952年（昭和27年）から青い羽根募金を行っています。

水色の 羽根



漁船海難遺児育英会が1969年（昭和44年）にはじめたもので、漁船海難遺児育英資金です。漁業従事中に海難などの事故で、死亡・行方不明になられた方々の遺児の学資・奨学金などの育英事業にあてられます。

緑の 羽根



国土緑化推進機構が実施するもので、1950年（昭和25年）から緑の羽根募金として始められました。1995年（平成7年）に緑の募金と改められた植林活動を支援する募金です。毎年、農林水産大臣の定める期間内に限って緑の募金という名称を用いて行う寄附金の募集で、その寄附金を森林整備等の推進に用いることを目的としています。

黄色の 羽根



交通安全・腎臓移植・社会を明るくする運動があります。
①交通安全推進の方は、1955年（昭和30年）5月に岩手県内の国道4号線で起きた大事故をきっかけに、交通安全のシンボルとして、岩手県内で「黄色い羽根」を配布したところ、全国に広がったようです。
②腎臓移植推進の方は、石川県の患者団体である「腎友会」が始めたもので、臓器移植の普及啓発と石川県臓器移植推進団体の活動事業費として役立てられるものです。
③法務省の主催で「社会を明るくする運動 ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」という理念のもと、全ての国民が、罪を犯してしまった人たちの更生について理解を深め、力を合わせて安全な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

白い 羽根



日本赤十字社（一部の地域で使用）が1950年（昭和25年）から行いました。1948年～1949年（昭和23年～昭和24年）は、共同募金会と合同で募金活動を行いましたが、1950年（昭和25年）からは日赤単独で事業資金を募集することになりました。街頭募金の寄付済の証としてブリキの赤十字マークをつけた白い羽根を使用することになりましたが、1956年（昭和31年）で終了しました。

黒い 羽根



黒い羽根（現在は使用されていない）が炭坑事故罹災遺家族の援助として行われていました。黒色の由来は石炭が「黒いダイヤ」といわれていたことです。

●歳末たすけあい援護金配分事業

申請のあった方のうち、審査基準を満たした方（世帯）へ民生委員児童委員さんを通して、援護金の配分をしました。（1世帯当たり15,000円 96件）

対象区分内訳	①満65歳以上の独居高齢者及び高齢者世帯	68件
	②寝たきり、認知症（若年性認知症含む）のいる世帯	1件
	③障がいのある方がいる世帯	13件
	④難病患者の方がいる世帯	4件
	⑤準要保護の認定を受けている世帯	4件
	⑥中学3年生までの子を養育している母子父子世帯・両親なし世帯	6件

●生活困窮者世帯への支援

生活困窮者自立相談支援事業へ相談があった中で、緊急支援が必要な世帯へ援護金を配分しました。（24世帯）